

抱き合うだけではまだ足りぬ

作・木村 繚真

○登場人物（女性3名・男性1名）

奥原 里帆

結奈

鞍手 藍

寺田

心音とともに幕があく。舞台には立方体が幾つか点在している。

里帆 この世には、常識ってものがある。

メトロノームC I（105〜120BPM辺り）。各々言葉に合わせて動作を行いながら発語。2小節ごとに句点表記。最初の6拍待って、

結奈 せーの！。

鞍手 否応なしに押し付けられて

寺田 いつものまにやら刷り込まれていて。

里帆 おはよう

結奈 よろしく

鞍手 おつかれ

寺田 さよなら

里帆 ごめんね

結奈 またね

鞍手 ただいま

寺田 おやすみ。

里帆 目覚めて

結奈 洗顔

鞍手 歯磨き

寺田 着替えて

里帆 遅刻をせずに

結奈 学校へ行く。

鞍手 前髪

寺田 靴下

里帆 スカートの丈

結奈 校則違反にならないように。

鞍手 正しい生徒でいられるように

寺田 差別も喧嘩もせず仲良くしろ。

里帆 空気を読んで

結奈 周りに合わせろ

鞍手 トイレは綺麗に

寺田 廊下は走るな。

里帆 図書室では静かに

寺田 いえーい！

ほか シーツ！

寺田 ……。

里帆 些細なことで

結奈 傷つき乱れて

鞍手 いつまでたっても

寺田 大人になれない。

里帆 寂しがり屋の

結奈 甘えん坊

鞍手 産まれたばかりの
寺田 赤ん坊。
里帆 おぎゃあ
結奈 おぎゃあ
鞍手 おぎゃあ
寺田 おんぎゃあ！
里帆 呼吸
結奈 酸素
鞍手 お母さん
寺田 はさみ。
里帆 へその緒
結奈 絆
鞍手 時間は流れる
寺田 泣いて
里帆 笑って
結奈 おっぱい飲んで。
鞍手 眠って
寺田 目覚めて
里帆 また泣いて
結奈 歯が生え
鞍手 ハイハイ
寺田 進んでく。
里帆 喋って
結奈 食べて
鞍手 とさどき吐いて
寺田 聴いて

里帆 見つめて
4人 歩いてゆくんだ。
鞍手 でも！

メトロノーム止まる。3人、鞍手を見る。

里帆 なに？

鞍手 本当に、当たり前？ 食べたり、喋ったり、
見たり聴いたり歩けることって。

間。

寺田 違う。

結奈 うん。

里帆 当たり前じゃない。

鞍手 そうだよね。

里帆 そもそも、生きるって当たり前？

鞍手 死ぬのは、当たり前。

結奈 どこまでが常識で、当たり前？

寺田 「当たり前」

結奈 「当たり前」

鞍手 「当たり前」

里帆 「当たり前」って、なんだ？

寺田 よーい、

里帆 え？

ほか どん！

里帆以外、走り出す。

里帆 えっ、何どうしたの

寺田 こらー奥原ア！

里帆 え？

寺田 廊下を歩くなアー！

結奈 ほら行こう。

里帆、戸惑いつつ走り出す。

鞍手 先輩おはようございまーす！

結奈 おはよー！

鞍手 先生おはようございまーす！（去っていく）

寺田 おーう！いい天気だなーッ、実に清々しい。

里帆 あのっ、先生ー！

寺田 なんだ奥原アー！

里帆 なんで走ってるんですかー？

寺田 なんでって、ここは廊下だぞー？

里帆 廊下、廊下は走っちゃいけないんじゃないですかー？

寺田 なんでー！

里帆 え？ なんでって……（歩く）

鞍手、全速力で箒を滑らせて走ってくる。

結奈 里帆ちゃん危ない！

里帆 え？

里帆と鞍手、ぶつかる。

里帆 いてて、

鞍手 危ないじゃないかキミ！ 廊下を歩くなんて！

里帆 え、あ、ごめんなさい。

寺田 どうしたんだ。

鞍手 この子が廊下を歩いてて、

寺田 ぶつかつたのか。

鞍手 はい。

寺田 まったく高校生にもなって。廊下は歩くな、小さい頃に教わったろ？

里帆 はい……。

寺田 ぶつけたか？

里帆 いえ。

寺田 気をつけろ。

里帆 すみませんでした。

寺田、走り去ろうとしたところ、

正面からチリトリを持って走ってくる結奈。

2人は進路を数度譲り合うが被り、カバディ状態に。結局ぶつかる。

里帆 ねえちよっと、コレなんなの？

寺田 検証だよ。

里帆 検証？

寺田 俺たち4人で「当たり前」を定義する！

鞍手 なんて。
寺田 なんてって、気持ち悪いだろ。何が当たり前か分からないと。
里帆 なんだそれ。
結奈 ハイハイー！
寺田 なんだ。
結奈 廊下はね、走っちゃ危ない。
ほか うん、間違いない。
寺田 よっしゃ、お前ら、ほかなんかあるか？
里帆 当たり前のこと？
寺田 おう。
鞍手 例えば？
寺田 じゃあ、こっちは右か？
結奈 うん。
寺田 こっちは左か？
結奈 うん。
寺田 「当たり前」のように思うだろ？
結奈 違うの！？
鞍手 みんなからしたらこっちは左で、こっちは右ってことでしょ？
寺田 その通り。
結奈 ねえみんなってなに？
鞍手 みんなってみんなよ。
結奈 あー、お客さんか。
寺田 だがしかしだな、こう言い換えたらどうだ？ 上手と下手。
里帆 なんか卑怯。
寺田 卑怯じゃないッ。
結奈 うえとした。奥とツラ？

寺田 そうそう。
鞍手 私は日本人？
寺田 そうだ。
鞍手 アメリカでアメリカ人が私を見てもそう思う？
寺田 思う！
鞍手 そうかなあ。
寺田 ほら、ほかにもないか？
里帆 えー。
結奈 あ、ハイハイ！
寺田 はい！
結奈 「授業中寝ない」！
チャイム。
鞍手 はい、みんな席についてー。
結奈 起立ー。気をつけー。礼ー。
生徒 お願いしまーす。
結奈 睡眠ー。
ほか はい。
生徒3人、着席して寝る。
鞍手 はい、前回の続き教科書5032ページ開いてー。
寺田、起きて教科書を開こうとする。

鞍手 寺田ー。

寺田 はい。

鞍手 授業中起きるな。

寺田 え、でも教科書開けて

鞍手 睡眠学習だ。

寺田 効果あるんですか！？

鞍手 ある。

寺田、いびきを立てて寝る。

鞍手 ハーイ。前回やった平面ベクトル。覚えてるー？ 始点A、終点Bの

ように、位置、向き、大きさのある線分を……、

里帆 せんせーい。

鞍手 ん？

里帆 うるさくて眠れませーん。

鞍手 ああ、そっかそっか、ごめんね。そうだよ。授業は静かにやろうね
ってオーイー！

寺田 なんだよ。

鞍手 ムナシイ。

結奈 誰も聞いてないもんね。

里帆 こっちとしてもさ、寝てなきゃいけないって逆につらい。

寺田 ハッ、体育も寝てないといけないのか！

結奈 はーいバドミントンします。

全員 はーい。

4人、横たわる。

間。

鞍手 あのさ、

寺田 おう。

鞍手 バカみたいじゃない？

4人、颯爽と起きる。

里帆 そもそも睡眠学習って意味ある？

鞍手 ないでしょ。

結奈 ないのかー。

寺田 俺たちの未来に関わる。授業は寝たらいけない！

里帆 当たり前だよ。

ほか あ。

里帆 え？ あ。

4人 当たり前。

寺田 よーし、この調子でいってみよう！

鞍手 じゃあ（挙手）、

寺田 お、ノってきたな。

鞍手 「身だしなみを整える」！

鞍手と里帆、髪をほどいたり服装を乱す。寺田もちらくする。

結奈 え、みんな何してるの。

鞍手 ちょ、結奈スカート長いー。

里帆 マジださいんですけどー。

結奈 そうかな？

寺田 オウオウその可愛い子ちゃんたちー。俺とニャンニャンしようぜー。

鞍手 間に合ってますー。

寺田 またまたー。

里帆 その顔でナンパとかウケるー。

寺田 なんだとコラー？

鞍手 耳遠いんかコラー。

里帆 耳かきすればー？

寺田 してるわ！

里帆 ママのお膝でー？

鞍手 きもーい。

寺田 んなわけねえだろ、パパだわ！

間。

鞍手 あのさちよっと待って。

寺田 なんだよ。

鞍手 それほんと？

寺田 なにが。

鞍手 お父さんに耳かきしてもらってるの？

寺田 おう。

女子3人だけでひそひそ話す。

寺田 おい、なんだよ。

里帆 あ、ううん。なんでもありません。

寺田 いや違うからな？ 別に俺はフアザコンとかじゃないからな！

鞍手 大丈夫大丈夫、みんなも色々あるから

寺田 色々ってなんだよ。

鞍手 中2まで親と寝てた。

寺田 ふーん。

里帆 中1まで親とお風呂に入ってた。

寺田 お父さんと？

里帆 ううん、お母さん。

結奈 わたし今も入るよ、お父さんと。

ほか えっ。

結奈 背中流しっこする。

寺田 客席の皆さん事案でーす！

鞍手 高校生の娘さんとお風呂に入っているお父様ー！

里帆 いらっしやいましたら舞台上へどうぞー！

結奈 えー、変なの？

鞍手 うん、やめたほうがいい。ね？

寺田 おう、そうだな。

結奈 じゃあみんなはいつまで入ってたの？

鞍手 わかんないけど小学生かな。

結奈 え。

鞍手 あんたは？

寺田 ……中3。

結奈 誰と？

寺田 ……母親。

里帆 客席の皆さん事案でーす！

鞍手 中3男子とお風呂に入っているお母様ー！

結奈 いらつしゃいましたら舞台上へどうぞー！

寺田 あのな、俺が望んだんじゃないからな！

鞍手 断れよ。

寺田 いや、かわいそうだろ。

里帆 マザコン？

寺田 違う！

結奈 でも嫌じゃないんだよね？

寺田 まあな。

鞍手 今は違うんでしょ？

寺田 ……。

里帆 まさか。

寺田 違う違うチガウ、たまに！ たまにな！

女子、引く。

寺田 いやいやいや、お前まで引くな！

結奈 マザコン……。

寺田 お前はフアザコンだろうが！

結奈 違うよ！ お父さんが勝手に入ってくるんだもん！

ほか ……。

里帆 110番？

鞍手 児童相談所？

寺田 今から家に戻り込むか？

結奈 いいよっ、今日からやめる。

里帆 えらい。

鞍手 寺田もやめな？

里帆 引き返せなくなるよ。

寺田 依存症か俺は！

鞍手 違うの？

寺田 俺んちだつてあつちが勝手に、

里帆 ハイハイ、もうさ、趣旨がズレちゃってるから。

鞍手 戻そう。

寺田 つたく、服装指導だったな。

鞍手 うん。

寺田 オウオウその可愛い子ちゃんたちー。俺とニャンニャンしようぜー。

里帆 いいよお？

鞍手 どこいくー？

寺田 とりあえずゲーセン。

里帆 いくいくー。

鞍手 結奈も来なよー。

結奈 ……。

里帆 結奈？

寺田 いいよいいよ、そいつなんかダセえし。3人で楽しもうぜ、

結奈 不健全だ……、

寺田 あ？

結奈 ちゃらちゃらして、いちゃいちゃして、そんなの不健全だ！

結奈、わちゃわちゃと暴れる。

結奈 うわああああん！

寺田 おい落ち着け！

結奈、寺田を殴る（スローモーション）。寺田、吹き飛ばす。
結奈は鞍手と里帆になだめられる。

結奈 私だって、私だってさ、なんか嫌だなんて思ってたんだよ？ でも
今までそうしてきたし、断りたくもないし、どうしたらいいか分から
なかつたんだよ……。

里帆 お風呂の話？

結奈（頷く）

鞍手 嫌だと思えば、拒否していいんだよ。結奈の好きにしているんだよ。

寺田 そんなの当たり前だろ？

女子3人、寺田を睨む。バツの悪い寺田。

寺田 だから、作つたらいいんだよ、もっと大きな「当たり前」を。

そしたら誰も迷わないし困らない。「当たり前」が人それぞれなんて、
そんなの「当たり前」って言わないだろ？

鞍手 言いたいことはわかるけど……。

寺田、里帆を見つめる。

里帆 なに。

寺田、無言で近づいていく。後ずさる里帆。

寺田、正面から里帆の両肩に手を置く。場に緊張が走る。

寺田 生きてるよな。

里帆 は？

寺田 生きてるよな？

里帆 当たり前じゃん。

寺田 お前らも、生きてるよな？

鞍手 たぶんね。

寺田 たぶんじゃない、絶対だ。人間だ。

結奈 人間。

寺田 そう、日本人。

里帆 16歳。

結奈 高校生。

鞍手 性別は女。

里帆 女。

結奈 女。

寺田 女！

ほか えっ！

寺田 俺は女だ！

結奈 そうなの？！

寺田 あはーん

鞍手 うそつけ！

結奈 うそなの？！

寺田 失礼ね。

里帆 女って証拠は？

寺田 そんなの要らない。

鞍手 なんで？

寺田 だって私は女だから！

里帆 男でしょ！

寺田 あなたこそ男じゃなくて？

里帆 (股間をさりげなくサツ) 女よ！

鞍手 確認すんな。

寺田 確かに体は男。でもね、心は立派な女よ。

結奈 じゃあどうやって見分けたいの？

寺田 見分ける必要ない。

鞍手 あるでしょ。

里帆 怖いよ。

寺田 ただ信じるのです。

結奈 女子トイレ使うの？

寺田 イエス。

結奈 お風呂は！？

寺田 一緒に。

鞍手 ありえない！ 身体的特徴をもって区別されるから。

寺田 差別だ。

鞍手 体の構造から違う。生まれた時から不平等よ。

寺田 例えば？

鞍手 例えば、子宮。

寺田 (自身の下腹部に手をあてる)

鞍手 生理のしんどさ、あんたに分かる？ めんどくささが男に分かる？

寺田 ……分からない。

里帆 筋肉。

寺田 え？

里帆 力じゃ勝てない。少なくとも、私は。

結奈 胸のふくらみ。お腹のふくらみ。(寺田を見て) 変だよ。

鞍手 うん、変。絶対におかしい。

寺田 何が。

里帆 頑丈にできてるほうが産めばいいのに。役目と負担が偏りすぎてる。

鞍手 約40週。

寺田 約、40週。

結奈 男と女。

里帆 遺伝子。

鞍手 血液。

寺田 内臓。

里帆 骨格。

結奈 皮、肌の色。

鞍手 体毛、髪の色。

寺田 右手。

各自、自分の身体を初めて見たかのように見て動かす。

里帆 左手。

結奈 右足。

鞍手 左足。

自分の身体を確かめるように、次第に、舞うように動いていく。
やがて止まり、

里帆 good morning (グッドモーニング／英語)

結奈 잘 부탁드립니다 (チャルプタケー／韓国語)

鞍手 辛苦了 (シンクラー／中国語)

寺田 Au revoir (オールヴォワール／フランス語)

里帆 Scusa (スクーザ／イタリア語)

結奈 Bis dann (ビスダン) (／ドイツ語)

鞍手 Ya volvi (ヤボルビー／スペイン語)

寺田 おやすみなさい (日本語)

里帆以外の3人、ふっと力が抜けて床に眠る。里帆に照明集まる。

ここから4人それぞれのエピソードが描かれていく。各主人公以外の3人は、本人として登場せず、必ず他人を演じている。便宜上、名前の表記は統一されている。

里帆「自殺」という言葉は、まるで誰かを殺したようだとわれ、「自死」

とも言われる。でもそれって変ですよね。たとえ自分であろうと、人を殺したことはないのに。その事実から逃げるように名前を変えたって意味がない。むしろイメーションアップ。それにその言葉を使うのは、自殺なんてしない人たち。死ぬ張本人たちは名前なんて気にしない、だってそんなのどうでもいいから。でもそんなことより、生きる義務を押し付けて、死ぬ権利を奪う奴らが許せない。死にたい気持ちも聴かない人こそ、人を殺します。「私の場合」。

鞍手 里帆、

照明、戻る。全員箱に座りながら、

鞍手 里帆！

里帆 え？

鞍手 どしたのぼーっとして。

里帆 ううん、課題のこと考えてた。

寺田 夏休みだつてのに休みがないよなー。

結奈 うちも休みお盆だけ。

鞍手 ブラック部活だー。

寺田 吹奏楽ってそんな大変？

結奈 うまくなるには練習しなきゃ。

鞍手 すごいねえ。

寺田 お前こそ。

鞍手 なんて？

寺田 家で勉強ばっかしてんだろ？

鞍手 してないよ。

寺田 常に校内1位とってんだからなー。

結奈 天才だよー。

鞍手 夢があるから。

里帆 なに？

鞍手 内緒。

寺田 いいねー。

結奈 あんたは写真家だっけ？

寺田 おう。

鞍手 食べていけるの？

結奈 生々しいね。

寺田 好きだから頑張るんだよ。勉強して、感性磨いて、一流になるんだよ。

鞍手 芸術ってよく分かんない。

結奈 いいよー？音楽は。

寺田 写真もな。

鞍手 映画なら分かりやすいんだけど。

結奈 そういえば演劇部って大会とかあるの？

里帆 うん、あるよ。

鞍手 里帆は将来脚本家？

里帆 いやいや、下手なもんだから。

寺田 え、お前脚本書けるの！？

里帆 みんなで話し合ったのを、まとめてるだけ。

結奈 それでもすごいじゃん。

鞍手 将来オファーしてね。

寺田 え、俺も俺も。

結奈 ぶちこわしそー。

寺田 被写体としても魅力的な男になるのさ。

鞍手 ないわー。

里帆 みんなは、

里帆以外ストップ。

里帆 みんなは生き生きしてる。息苦しい。行きたい道は無い、

粹がることもできない。いきなり産まれて生きさせられて、

私にはなんにもない。生きるためには生きたくないから、

死んだっていいでしょ？ ね。

寺田 ……駄目だ。

鞍手 いいよ。

結奈 だめ。

寺田 いいよ。

鞍手 だめ。

結奈 いいよ。

3人 だめ！

里帆 うるさいっ！

間。

里帆 生きるか死ぬかは私が決める。

鞍手 ……いいよ。

里帆 え？

寺田 辛かったな。

結奈 頑張ったね。

鞍手 わかるよ。

寺田 そうだな。

結奈 (里帆の背中をさする)

鞍手 死んだっていい。

寺田 命を奪っても、いいよ。

チャイム。昼食。

4人 いただきます！

結奈 お魚おいしー。

寺田 牛肉うまつ。

鞍手 鶏肉ヘルシーっ。

里帆 ん！ その卵焼き美味しそうー。

寺田 どれどれ (鞍手の卵焼きを奪う)。

鞍手 あっ、

寺田 んーうまい。

結奈 私も (奪う)。

里帆 私も(奪う)。

鞍手 ……。

里帆 おいしー。

鞍手 あ、そのウインナー美味しそう(寺田のウインナーを取る)。

寺田 あっ、

結奈 私も(奪う)。

里帆 私も(奪う)。

鞍手 っ、まずい！ もう1本！(もう1本取る)

寺田 ……。

結奈 私も！

里帆 あー！ 無くなったじゃん！

結奈 早いもの勝ちー。

寺田 お前のフォアグラ美味しそうだな！

結奈 えっ、

里帆 ほんとだー。

鞍手 味見だ！

3人、結奈の弁当箱に群がる。

結奈 なくなっちゃった。

寺田 まあまあだな。

鞍手 薄味。

里帆 苦手。

結奈 ……ねえ、むかつくからさ、ちようだい。

結奈、カッターの刃を出す。

3人 え。

里帆 ちよっ、待つ、キャー！！

結奈、里帆にカッターを振り下ろし、照明・シルエット。

寺田もカッターを取り出し、結奈を刺す。

続けて鞍手もカッターを出して寺田を刺す。

鞍手以外、眠るように倒れる。照明、鞍手に集まる。

鞍手 始まりは小学5年生。同じクラスの真奈美ちゃん。

可愛くて、お話が上手で、クラスの人気者。

ある日彼女に手を引かれ、夏祭りに行きました。

ぼうっと灯る赤提灯、浴衣姿の男と女、行き交う人の弾ける喧騒。

焼きそばの匂いに交じる、甘いシャンプーの香り。

夜の世界はとつても綺麗で、少し大人になった気分。打ちあがる花火。

ピンク色に染まる真奈美ちゃんは、とつても綺麗だった。「私の場合」。

寺田、起き上がる。

寺田 鞍手。

鞍手 っ？

寺田 こないだの返事、どうかな。

鞍手 ……ごめん。好きな人、いるから。

寺田 2組の佐藤か？

鞍手 え？

寺田 それとも、3組の大納言？

鞍手 ううん。

寺田 あ、4組のゴンザレスか。

鞍手 内緒。

寺田 ……幸せな奴だな。

鞍手 そうでもないよ。

寺田 わかった。幸せになってくれ。

鞍手 なれたらね。

寺田、上手に去る。

結奈、里帆、立つ。

結奈 いやほんとなんだって！

里帆 またまたー。

結奈 藍も言っちゃってよ。

鞍手 うん、昨日見たよ。一緒に帰ってるどころ。

里帆 たまたま！

結奈 違うんだなー。

鞍手 手、繋いでたんだよ。

里帆 ……。

結奈 2人の後姿がね、こう、出来上がってたよね。

鞍手 見てるこっちが恥ずかしかった。

結奈 ねー。

里帆 ごめん、私もう帰って死ぬわ。

結奈 明日数学テストだよ。

里帆 (テキストに手を振って下手に去る)

鞍手 今回はどうだろ。

結奈 ま、2日もあれば復活するでしょ。

鞍手 そんなに早く？

結奈 恋愛体質なんだよ。

鞍手 でも付き合ったことないんでしょ？

結奈 らしいね。

鞍手 恋に恋してるって感じ？

結奈 あー、ぴったり。

鞍手 でもいいよね。

結奈 なに？

鞍手 人を好きになれないより、素敵だと思う。

結奈 藍は好きな人いないの？

鞍手 え。

結奈 そういうの聞いたことないけどさ。

鞍手 私は……、

結奈 いるの？

鞍手 ……。

結奈 いるんだー。誰？ 3組の大納言くん？

鞍手 ちがうよ。

結奈 じゃあ4組の、

鞍手 ゴンザレスでもない。

結奈 えー、じゃあー、

鞍手 私ばかり答えてずるい。

結奈 まあ、私はさ、ちょっと、怖いかな。男の人が。

鞍手 ……。

結奈 ほら、色々あったじゃない？

鞍手 うん。

結奈 だから、よくわかんない。
鞍手 そっか。
結奈 うん。

間。

結奈 よし、帰ろっか！

結奈、去ろうとしたところ、

鞍手 ねえ、

結奈 ん？

鞍手 私、好きだよ。

結奈 なに？

鞍手 真奈美のこと。

結奈 ありがとう。

鞍手 ちがう。

結奈 どしたの？

鞍手 ……好きなの。

間。

結奈 私が、男だったら良かったのにね。

結奈、去る。鞍手、自分の身体を感じる。

鞍手 女だから何？ 男だから何？ 私が決めたんじゃない。私が……！

鞍手の前に寺田と里帆がやってきて、

寺田 付き合ってください。

里帆 お願ひします。

寺田 ご飯に行こう。

里帆 うん。

寺田と里帆により、とある男女カップルの物語が演じられる。

(おおまかな立ち位置は変えず、その場で演じる)

その様子を鞍手は遠くから見ている。

寺田 (徒歩、さりげなく車道側を歩くように位置を変える)

里帆 ありがとう。

寺田 このお店にしよう。

里帆 いいね。

寺田 いただきます。

里帆 いただきます。

寺田 (食べる動作)

里帆 おいしい。

寺田 よかった。

里帆 ごめん、お手洗い。

寺田 うん。

里帆 (去る)

寺田 すみません、先、お会計。……ご馳走様です。

里帆（戻ってくる）

寺田 美味しかったね。

里帆 お腹いっぱい。

寺田 行こうか。

里帆 うん（財布を出す動作）。

寺田 いいよ。

里帆 駄目だよ。

寺田 もう払ったから。

里帆 えー。じゃあ今度は私がご馳走する。

寺田 手料理が良いな。

里帆 じゃあ、練習する。

寺田 楽しみだ。

2人、微笑む。

里帆（床からかなり重い物を持ち上げようとする動作）

寺田 よければ持つよ。

里帆 ありがとう。

里帆（高い所から物を取る動作）

寺田 取るよ。

里帆 ありがとう。

寺田 撮るよ。

里帆（ピース）

寺田 良いね（画面を見ている）。

里帆 お待たせ（箱の上に料理を並べる）。

寺田 良い匂い（床に座る）。

里帆 召し上がれ。

2人 いただきます。

寺田（食べる）

里帆 どう？

寺田（食べ続ける）

里帆 頬張りすぎ。

寺田（親指を立てる）

里帆 やった。

寺田 今度は俺が作る。

里帆 え、期待しちゃうかも。

寺田 任せろ。

里帆 うん。

寺田（里帆の手をとり、）結婚しよう。

里帆 ……はい。

寺田（客席に向かい、）娘さんと、結婚させてください！ お願いします！

里帆（立ち上がり、）結婚かあ。

寺田（跪いて、指輪を取り出す）

里帆（口に手を当てる）

寺田（手を差し伸べ、）

里帆（手を出し、）

寺田（指輪をはめる）

里帆（微笑む）

寺田（指輪をはめた手をそのままゆっくりと里帆のお腹に当てる）

里帆 もうちょっと下。

寺田 パパだよ。

里帆 まだ早いよ。

寺田 お前のママはな、世界で1番なんだぞ。

里帆 たとえば？

寺田 優しい。

里帆 ほかには？

寺田 美人だ。

里帆 それから？

寺田 料理がうまい。気が利く。仕事ができる。話も面白い。でもときどき変だ。

里帆 変ー？

寺田 いい意味で。

里帆 なにそれ。

寺田 いつもありがとう。

里帆 こちらこそ、ありがとう。幸せです。

2人、静止。間。

鞍手 おぎゃあ。

鞍手、お腹に手を当てる。結奈、ゆっくりと出てくる。

結奈 私たち、女だよ？

鞍手 分かってる。

結奈 分かってる？

鞍手 分かってる。

結奈 ……なら、良いよ。

鞍手 え？

結奈と鞍手、抱き合う。寺田・里帆、微笑んで拍手。

抱き合った2人、そのまま膝をつく。

寺田と里帆は拍手を止め、結奈と鞍手を睨みつけ、

上・下手へそれぞれ去っていく。

照明・シルエット。残った2人は更に絡み合い、ゆっくりと横たわる。

暗。

明。舞台には結奈が照らし出される。

結奈 中学の頃からです。私は勉強ができなくて、みんなにクスクス笑われました。先生も溜息をつきます。でも、お父さんだけは、抱きしめてくれました。誰も私を怒らない。なんでだろう。お母さんがいないから？ なんてだろう。黒板に書いてある数式が、滑り台やブランコに見える。なんでだろう。クラスメイトは泣いているのに、私は涙⁶が出ない。一緒に笑えない。笑わなくていい時に笑っちゃう。なんでだろう。「私の場合」。

寺田がやってきて、

寺田 座って。

結奈 うん。

寺田 今日は学校どうだった（結奈の背中をこする）。

結奈 どうって？

寺田 楽しかったか？

結奈 あ、今日ね、演劇部のみんなと「当たり前ってなんだ」っていうの考えた。

寺田　なんだそれ。

結奈　寺田っていう男子がいてね、突然言い出したの。

寺田　面白い子だな。

結奈　お父さんに似てる。

寺田　気のせい気のせい。

結奈　でね、思ったの。

寺田　うん。

結奈　私には、当たり前ってよくわかんないなーって。

寺田　父さんも、よくわからんよ。

結奈　お父さんでも分かんないことあるの？

寺田　あるぞ。

結奈　例えば？

寺田　宇宙人はいるか。

結奈　え、いるいる！絶対いる！

寺田　なんでそう思う？

結奈　いたほうが絶対楽しい！

寺田　そうだな。俺たちだって宇宙人だしな。

結奈　え！？

寺田　え。

結奈　日本人じゃないの？

寺田　日本人だよ。

結奈　なんだ日本人か。

寺田　地球だって宇宙に浮かんでるんだ。宇宙に住んでるんだよ。

結奈　なるほどー。

寺田　広い宇宙に、ほかの生き物がいてもおかしくない。

結奈　ねえ、窓開けていい？

寺田　いいぞ。

結奈（窓を開ける）ふいー、涼しい。

寺田　星、見えるか？

結奈　うん！

寺田　今日ならペルセウス座流星群が見れるかもな。

結奈　ペルセル流星群？

寺田　ペルセウス座流星群。こっちは北東だから、ちょうど放射点だ。

結奈　流れ星か。

寺田　まだ時間が早いけど、ちょっと電気消してみるか。

結奈　うん！

舞台、薄暗く。天には星がきらめく。

寺田　こういうとき、田舎は良いな。

結奈　ねえ。

寺田　ん？

結奈　お母さんってさ、私の顔、見たことある？

寺田　……あるよ。

結奈　そっか。

寺田　お前を見て、笑いながら泣いてたよ。

結奈　……そっか！

星が流れる。

結奈　あっ！今、見た！？

寺田　見た！

結奈 見たー！

寺田 母さんはな、今でも空から見てるよ。

結奈 ありがとう、お母さん。

寺田、座る。

結奈 お父さん。

寺田 ん？

結奈 もう、お父さんとお風呂入るのやめる。

寺田 どうかしたか？

結奈 足りない脳みそで考えた。私、お父さんに心配されなくらい、

強くなる。お母さんいないし、わたし、ちょっと馬鹿だけど、

寺田 そんなことない。

結奈 強くなるから。

寺田 (何度も頷く)

結奈 ほら、もう高校生だし、蹴ったり石ぶつけて来る人いないから。

ね、大丈夫。もうアザとか無いでしょ？

寺田 そうだな。

結奈 今までありがとう。

寺田 (首を横にふる。満面の笑み)

そこへ後ろから里帆が寺田を引っ張り袖まで追いやり、戻ってきて、

里帆 あのさ。

結奈 はい。

里帆 困ってるんだけど、助けてくれない？

結奈 はい。

里帆 彼氏に妊娠させられて、おろすのに50万いるんだわ。

結奈 はあ、

里帆 お金貸して。

結奈 えっと、家族とか、

里帆 アンタに頼んでんのよ。

結奈 あ、ああ、

里帆 いくらある？

結奈 えっと、

里帆 返すから。

結奈 でも、

里帆 早く。

結奈 はい。あ、いや、

里帆 早くしないとおろせなくなるでしょ！

結奈 はいっ……！！ (渡す)

里帆 ありがとう。

里帆、去る。

寺田、鞍手の腰に腕を回してやってくる。

寺田 なあ、ちょっといいか。

結奈 うん……。

寺田 こちら、

鞍手 亜美です。お世話になってます。

結奈 こんばんは。

鞍手 子ども、大きいね。

寺田 え、言ったよね。

鞍手 あなた、結構色気あるね（結奈の体を触る）。

結奈（びくつき、振り払う）

鞍手（舌打ち）

寺田 あ、あのな。亜美さんと、父さん、付き合ってるんだ。

結奈 え。

寺田 もう半年になる。

鞍手（寺田の頭を撫でる）

結奈 ……。

寺田 言っておこうと思って。

結奈 なんで……？

寺田 え？

結奈 なんでよ。

寺田（ニヤけて）結奈、父さんな、

結奈 気持ち悪い……。

寺田 ……。

結奈 最っ低。

結奈、寺田から目を離さない。

その目には軽蔑や拒絶、強い意思がこもっている。

鞍手（鼻で笑って、家の中に勝手にあがる）

結奈（服のすそを引っ張って止める）

鞍手 なに？

結奈 勝手に入らないで、ください。

鞍手 どうして？

結奈 家族じゃないです。

鞍手 安心しなさい、もうすぐなるわよ。

鞍手、結奈の手を振りほどき、奥へ進む（去る）。

結奈、寺田を睨みつける。

寺田 なあ、

結奈 私が大人になるまで、こういうの言っていたよね？

寺田 でもな、

結奈 でもじゃない！

寺田 ……。

結奈 うそつき。

寺田 結奈（触れようとする）、

結奈 やめて。

寺田 なあ、

結奈 キモいよっ……。

寺田 ……。

結奈 お父さんに、裸見られたり、触られるの、嫌だった……！

結奈、駆けて出て行く。

鞍手が出てくる。

鞍手 どういうこと？

寺田 え？

鞍手 裸見られたり、触られるって。

寺田 違う。別に変な意味じゃなくて、
鞍手 帰る。

寺田 ちよっと、待って、

鞍手、去る。追いかけて去る寺田。

結奈、駆けてきて止まり、赤ん坊のように泣く。

結奈 おかあさあああああんんん……！！！！

星がいくつも流れる。

シルエツト。しばらくの間のと、溶暗。泣き声はやまず。

やがて静まり、明。寺田が照らし出される。

寺田 中学1年のときでした。クラスにコマル君という丸眼鏡でふくよかな奴がいました。入学して1ヶ月が過ぎた辺りで、彼の様子がおかしいことに気づきます。「俺の場合」。

寺田、客席を向いて席に座る。授業中。ふと、

寺田 俺の前の席に座るコマル君の体が、入学した頃よりも随分大きくなっていました。黒板が見づらいほどに。俺は軽い気持ちでコマル君に言いました。「黒板見えない。ちよっと痩せれば?」。何気ない一言でした。それを聞いていたクラスメイトは大爆笑。みんな悪乗りして、

鞍手「とんかつばっか食ってるからだろ」

里帆「ぶーぶー」

結奈「今日の弁当はキャベツか?」

寺田 と、からかいました。彼の実家はとんかつ屋で、俺も何度か行ったことがあります。

鞍手「ほれほれ」

里帆「相撲とろうぜ」

寺田 最初のうちはコマル君のお肉をつんつんしたり、相撲をとったり、みんな楽しそうでした。俺も1戦交えます。

結奈「はっけよーい、のこった!」

寺田、一人で相撲をとる。投げ飛ばされる。

寺田 誰もコマル君に勝てない。隣のクラスの大納言くんでも勝てない。

鞍手「コマル君すごい」

里帆「入門したら?」

結奈「ぶにぶに」

寺田 学年でのコマル君人気は高まりました。けれど、黙っていない奴がいました。1組のアレサンドロです。彼は2度もコマル君に負けています。しかもそれを女子に見られて屈辱でした。

鞍手「アレサンドロくんってもしかして」

里帆「弱い?」

結奈「ださい」

寺田 プライドを傷つけられたアレサンドロ。矛先は、コマル君へ。女子を使って、

鞍手「コマル君。今日の放課後、体育館倉庫で待ってる」

寺田 コマル君を暗がり呼び出した。そして後ろから首を絞め、倒して、頭を殴る。仲間が腹や背中を蹴る、唾を吐く。その日からです、コマル君への扱いが、ひどくなっていったのは。

鞍手「また太ったか？」

里帆「何キロ？」

鞍手「お前の店赤字じゃねーの」

寺田「初めはアレサンドロ一味だけでした。でも1週間もすれば、みんな

同調し始めて……、

鞍手「デブ」

里帆「子豚ちゃん」

結奈「痩せろ」

寺田「黒板見えないって。」

鞍手「コマル君って優しいよねー」

里帆「いじられ役だよねー」

結奈「いつでも笑ってるよねー」

寺田「だからさ、黒板、見えないって！ 邪魔！」

鞍手「邪魔」

里帆「邪魔」

結奈「邪魔」

寺田（縄を跳びながら）「高さもつと！ちよ、低いよ！（ひっかかる）」

コマルさ、もつとこう、下からぐいんって感じで、大きく回してよ縄。

なあ、疲れんの早くね？

鞍手「ぶにぶにー」

里帆「はい、残飯」

結奈「ダイエツトしないでね、コマル君そのままカワイイから」

寺田「数ヶ月して、やっと席替えになりました。」

鞍手「やっただー」

里帆「後ろがいいなー」

結奈「コマルの後ろとか」

3人「やだー」

寺田（むすっとした表情。しかし気を取り直し、くじを引く）「山口さんの隣

こい、隣、こい、こい！」

鞍手「寺田、心の声漏れてる。」

寺田（引く）「おおおっしゃああああ！ やまぐつちさああん！」

寺田、立方体を1回転させて座る。

寺田「よろしく、山口さん！」

寺田、鼻歌を歌う。

寺田「あ、山口さん、俺ね、演劇部入ってるんだけど、今度体育館で上演するんだよ。安藤も出るしさ、良かったら友達つれて観に……、21

寺田、遠くに座っているコマルの顔を見る。教室内の喧騒消える。

寺田「初めて見た。これまで見たことのない顔で、コマルは座っていた。

今までずっと、あんな顔で教室にいたのか？ あんな悲しい顔で座っていたのか？ 俺は彼の大きな背中しか見てこなかった。背負っているものに、気づきもせず。

鞍手「えーうそ、コマルの後ろじゃん」

結奈「いいじゃん隠れられて」

鞍手「でも（耳打ち）」

結奈「あー（クスクス）」

里帆「なにになに」

結奈「いや、あのね、」

寺田 やめろよ、

結奈「コマル君の近くって、」

寺田 やめろおおおおつ！！

間。

寺田 コマル……お前、お前つらいよな？ つらいに決まってるよな？

なのに、なんでそんなに笑ってんだよ……泣きたきや泣けよ！

なあ？ なあコマル。コマル？ おい、行くな、行くなコマルー！

暗。

鞍手 それから1週間後のことでした。

里帆 屋上から飛び降りて、

結奈 コマルは自ら命を断った。

蝉の声。明。

寺田、舞台下手後方でしゃがみ、手を合わせている。

寺田 俺が、ちょっと横にズレたら良かったんだよな。

大きくなってたのは、俺の傲慢な態度なんだよな……？

寺田、声なく泣く。蝉の声F.O。

結奈と鞍手、里帆に絡みながらやってくる。

寺田は遠くから様子を見る。

鞍手 ねえ今月ほんとキビしいのよー。お願いだからさあ、金、また盗んできてくんない？

結奈 あ、修学旅行のお土産ヨロシク。うち4人家族ね。

鞍手 うち6人だから。

結奈 あとさ、2日目の夜、先生に告白しな。

鞍手 誰でもいいよ、選ばせてあげる。

結奈 あ。

結奈、草むらのコオロギを捕る。

結奈 ねえ、コオロギ、好き？ ねえ、コオロギ！

里帆、口にこおろぎを押し込まれる。

笑う2人。

鞍手 あんたさ、日本人じゃないでしょ。

結奈 なんか汚いよね。

鞍手 臭いし、

結奈 キモいし、

2人 ウザい。

鞍手 聞いてんの？（里帆の髪をつかむ）

結奈（動画を撮り始める）

鞍手（里帆に顔を寄せてピース）

結奈 スカート脱いで。

里帆（顔を横にふる）

鞍手 脱げよ。

結奈 さっさとしろよ出来損ない！ 見ててイライラすんだよ。

鞍手、カッターで里帆の髪を切る。

鞍手 ねえアンタさ、なんでまだ部活くんの？

結奈 邪魔だよ。

鞍手 超邪魔。

結奈 辞めやすいようにシカトしてやってんじゃん？

鞍手 ねえ、聞ってる？ 剛毛ちゃん。

結奈 フケすごいよ。

鞍手 吸っちゃう吸っちゃう。

結奈 ニキビもやばいってそれ、うつるうつる。

鞍手 ふざけんなよ。

結奈 なんでそんな汗臭いの？

鞍手 ゴミ。

結奈 生ゴミ。

鞍手 書いといたげるよ（ペンを出して里帆の頬に落書き）。

結奈 はーい、じゃあ今度は自殺の練習するよー。

鞍手 はい、手首に当てる（里帆にカッターを握らせようとする）。

里帆 嫌……！！

鞍手 は？

里帆 そんなこと、しない。

鞍手 ゴミの癖に偉そうなことやってんなよ！

寺田、3人に近寄って、

寺田 何やってる。

結奈 先生、こんにちは。

寺田 ……何してた。

鞍手 話してただけです。

里帆 違う。

結奈 違います。

寺田 どっちだ。

里帆 いじめです。

鞍手 もう大袈裟なんだから。

結奈 じゃれてただけですから。

里帆 寺田先生。助けて。

寺田 ……勘違いじゃないのか。

里帆 ……。

寺田 行きなさい。

里帆、去る。

結奈 先生、本当は見てたでしょ。

寺田 さっさと帰れ。

寺田、去る。音楽。

鞍手 悪い大人。

結奈 だね。

2人、笑って去る。各人のエピソードは終わり。
舞台シルエット。

順番にゆっくりと歩きながら入ってきて、言葉が重なっていく。

寺田 何もない。時間も自我も人生も、入り乱れて交わって交わって交わって、

里帆 交わって交わって交わって、

結奈 重なって重なって重なって、

鞍手 繋がって繋がって繋がって、

寺田 誰でもない、何かに成るんだ。

チャイム。同時に薄明り。

結奈 あ、もう4時半だよ。

鞍手 よし、緞帳上げよっか。

結奈 うん。

鞍手、結奈去る。

里帆 寺田。

寺田 んー……？

里帆 最近どうしたの。

寺田 何が。

里帆 なんか、から回ってるよ。

寺田 うるせえな。

鞍手 緞帳あげます。

ほか ハイ！

里帆 ……最近、なんかあった？

寺田 ない。

里帆 じゃあ真面目にやってよ。

寺田 やってるだろ。

里帆 やってない。

寺田 脚本書くために、無駄なことしてるか？

里帆 してない。

寺田 じゃあ、

里帆 でも、最近なんか変だよ。

寺田 進路のことで、ちよつとな。

里帆 教師になるんでしょ？

寺田 ……。

里帆 おうちの問題？

寺田 気にすんな。

寺田、去ろうとして、

里帆 寺田らしくない。

寺田 (止まり) 俺らしいってなんだ？

里帆 え？

寺田 奥原らしいって、なんだ？

里帆 なに、急に。

寺田 俺はお前にはなれない。

里帆 それはそうでしょ。

寺田 俺は俺でいいのか？

里帆 当たり前じゃん。

寺田 どこまで。

里帆 どこまでも。

寺田 お前はお前でいいのか？

里帆 ……いい。

寺田 どこまで。

里帆 どこまでも。

寺田 分かり合うには、ひとつにならないといけない。だけどひとつになつたら、俺は一体どこへ行く、何になる。

里帆 ほかの人がいるからって、寺田が消えることはないんだよ。

寺田 そんなの上っ面じゃないか。相手を認めても、相手にならない限りバラバラのままなんだよ。でも相手になつたら俺は俺じゃなくなる！

里帆 よくわかんないよ。

寺田 演劇の、役作りと同じことだ。

里帆 ……とにかく、私はここにいる。寺田もこのままここにいて。

寺田 ここつてどこだ。

里帆 体育館の、ステージの上。

寺田 ……違う。

里帆 え？

寺田 ここは、教室だ。

チャイム。結奈入る。

結奈 おはよー！

里帆 え。

結奈 数学の課題終わった？

里帆 ……。

結奈 昨日2時までやったけど分かんなくって、里帆ちゃん一生のお願い！
教えて！

里帆 (寺田を見る)

結奈 え、まさか寺田先生に聞けつていうの？

里帆 寺田、先生？

結奈 うん。え？ 見えない！？

寺田 宿題は自分でやれ！。

結奈 はあーい。

寺田、去ろうとして、

里帆 寺田！

寺田 おーくーはーらアー。寺田先生だろう。

里帆 ……。

寺田 なんだ、どうした。

里帆 (首を横に振る)

寺田 具合悪いのか？

里帆 いや、なんでも、ありません。

寺田、去る。

結奈 どしたの？

里帆 これ、夢？

結奈 これって、これ？

里帆 うん。

結奈 え、これ夢なの!?

里帆 いや、わかんない。

結奈 なんで夢なの?

里帆 いや、だつてさつきまで部活してたし、寺田は生徒だし……。

結奈 部活?

里帆 結奈もいたじゃん。

結奈 何部?

里帆 演劇部。

結奈 ー? わたし陸上部だよ?

里帆 え?

結奈 それに里帆ちゃん、部活やってない。

里帆 ??

結奈 寺田って生徒もいないよ?

里帆 いや、いるじゃん、あの馬鹿な奴。

結奈 ー?

鞍手、入る。

結奈 あ、藍ちゃんいいトコロに!

鞍手 なに。

結奈 里帆ちゃん変なの。

鞍手 おはよ。

里帆 おはよう。

鞍手 顔色悪いね。

里帆 ねえ、私たち演劇部だよ?

鞍手 ……。

結奈 ほら。

鞍手 私、部活やってないよ。

里帆 なんて?

鞍手 バイト忙しいから。

結奈 ねえ、寺田って生徒いたっけ?

鞍手 先生じゃなくて?

結奈 うん。

鞍手 さあ、知らない。

結奈 だよ。

里帆 じゃああれは? 4人でやったじゃん、当たり前を定義するって。

結奈 当たり前をテイギ?

鞍手 保健室いく?

里帆 待つて待つて、なに、私がおかしいの?

鞍手 これ何本?(指を立てる)

里帆 2本。

鞍手 じゃあ今日の日付は?

里帆 今日は……あれ?

照明、里帆に集まっていく。鞍手と結奈、静かに去る。

里帆 確か、大会の台本書くために話し合いしてて……あれ? 結局どうな

ったんだっけ。なんで教室にいるんだ? 思い出せない。いつから?

体育館にいて、4時半になったから緞帳をあげて……、

祭りの喧騒が聞こえてくる。里帆、周囲を見渡す。

舞台は夏祭り。

ひよつとこの面をかぶった寺田が鐘を鳴らしてやってくる。

寺田　へいらっしやーい！　焼きそば食べてってよ！　うまいよー？

里帆　寺田……、

寺田　おっとお嬢ちゃん人違いだぜ？オレア2組の大納言マサオだよ！
里帆　何言ってるの。

里帆、面をとろうと奮闘するが、
カバデイの動きで悉くかわされてしまう。

寺田　神社正面、派手な看板目印よ！　来てみてらっしやい天下第一品、
大納言焼きそば！さーア買った買ったー！

寺田、宣伝しながら去る。鞍手が走ってくる。

鞍手　おまたせー！

里帆　……。

鞍手　ごめん、待った？

里帆　藍、ちゃん？

鞍手　うん？

里帆　鞍手藍ちゃん？

鞍手　なんでフルネーム。

里帆　私、奥原里帆でいいんだよね？

鞍手　誰それ。

里帆　……。

鞍手　ははーん、財布も忘れたとか言うんでしょ。ケチだねー。確かに

お祭りはぼったくりだけどき、こういうときこそ奮発しないと。
あつちにカステラ売ってるから行こう。

鞍手、里帆の手を掴んで行こうとするが、

里帆　ごめん藍ちゃん。

鞍手　ん？

里帆　わたし、誰……？

鞍手、里帆の目を見つめる。

鞍手　あなたはコマル君。

里帆　……何？

鞍手　小丸雅弘。

里帆　（ふらつく）

鞍手（支えて）大丈夫？

里帆　わたし、頭おかしくなっちゃった。

鞍手　具合悪い？

里帆　マサヒロって、誰？

鞍手　あなたの名前。

里帆　男？

鞍手　なに？　オトコって。

里帆　……。

鞍手　オトコだか奥原だか知らないけど、あなたはコマル君！　ねえ、
もう帰る？　花火はまた別の所でもいいし。

里帆 ねえ、私って、高校生？
鞍手（顔を横に振る）。

結奈、走って出てくる。

結奈 おかあさあーん！！（里帆に抱きつく）

里帆 えッ、

鞍手 冗談キツイわよ？

寺田 あ、どうも。

鞍手 久しぶりね。

寺田 今年もお邪魔します。

鞍手 気兼ねしないでね。

寺田 ありがとうございます。

鞍手 毎週でもいいのよ？ 結奈ちゃんに会えて嬉しいんだから。

結奈 私もおばあちゃんに会えてうれしいー。

鞍手 あらうれしいー。

地面にへたれこむ里帆。

寺田（里帆に）どうした真奈美。

里帆、笑う。

結奈 お熱ー？（里帆のおでこに手を当てる）

鞍手 熱中症かしら。

寺田 今日はずっと外にいたもんな。

鞍手 うちでゆっくりしなさい。

寺田 大丈夫か？

里帆 ううん。大丈夫じゃないや（笑い続けている）。

結奈 お母さん。だあーいすき！

強く里帆の身体にしがみつくと結奈。

そこへ花火の音。

結奈 流れ星ー！（しがみついたまま）

寺田 夜空にまあるく打ち上がる（背後から里帆の頭部を両手で固定）、

鞍手 流れ星（里帆の首を両手で絞める）。

左右、後方から取り囲まれて締め付けられている里帆。ひととき

大きな声で、しぼり出すように笑う。泣いているようにも見える。

次々打ち上がる花火（音に加えて照明の変化もあればなお良い）。

花火はまるで銃火器の音や光のよう。里帆は撃ち抜かれているかのよ

うに、苦悶の表情で徐々に体勢を倒してうずくまる。結奈、鞍手も

横たわる。寺田は立ったまま、だらりと、うなだれている。

静寂。

寺田、少し顔を上げて、

寺田 混沌だ。

ゆっくりと、ほか3人も顔を上げながら、

里帆 混ざりきることはない、

結奈 カオス。
鞍手 81億のアイデンティティ。

4人それぞれ、虚ろな表情で、這ったりよろめきながら離れていく。

寺田 相容れぬ信条が、

里帆 慣習が、

結奈 情動が、

鞍手 せめぎ合う。

寺田 1つの器が

全員 81億。

里帆 1つの器に

全員 81億。

結奈 個は死に調和が保たれる。

鞍手 はず、

寺田 だった。

4人 争いは、なくならない。

やがて力尽き、胎児の様に丸くなり、目を瞑って動かなくなる4人。
暗闇。

里帆 それでも、

結奈 あなたを、

鞍手 わたしを、

寺田 諦めたくない！

心音が鳴る。

4人、同時に大きく息を吸い込むと、心音が赤ん坊の泣き声に変わる。
同時に曲（イメージは Sigur Ros 『Festival』 IN。溶明。

4人、自分のヘソの緒を手探りで掴み、ロープのように手繰って
立ち上がっていく。ゆっくりと目を開け、完全に、立つ。

遠くを見つめ、ふっと微笑む4人。

里帆 おはよう！

4人、走り出す。

結奈 よろしく！

鞍手 おつかれ！

寺田 さよなら！

里帆 ごめんね！

結奈 またね！

鞍手 ただいま！

寺田 おやすみ！

鞍手 大好き！

結奈 ありがとう！

里帆（立ち止まり、客席に手を差し出す）踊ろう！

それぞれ感じるがまま自由に舞う。手を鳴らし、足を踏み鳴らし、
歌い、跳び、叫んで、コンテンポラリーダンス。舞台と客席の隔たり
も消え、ひたすら生命の歓喜に溢れ、会場全体を幸福で圧倒する。
力いっぱい生きる。幕。

◎人数設定について

大勢の登場人物を4名で演じることにより、誰が誰だか分からない、人が混ざり合っている、という混乱を観る人に体験してもらおう意図があります。ですので、そのまま4人で演じていただけると幸いです。